

2020年10月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第28号(通算3205号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい
聖霊降臨節 第21主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます**》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば
招きの詞 エレミヤ書

しゅう せつ
29章 7節

さんび か ばん
賛美歌 522番「キリストにはかえられません」(©JASRAC)

せい しょ
聖 書 フィリピの信徒への手紙 3章 5-21節

いの
お 祈 り

さんび か ばん あい かみ せつ きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 454番「愛する神にのみ」(1-3節) (©教団讚美歌委員会)

こくせき てん く ばしよ うしだ ただし ぼくし
メッセージ 「国籍は天に、暮らしはこの場所に」牛田 匡 牧師

さんび か ばん あい かみ せつ きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 454番「愛する神にのみ」(4-7節) (©教団讚美歌委員会)

しゅう いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかいいんかい
主の祈り 62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅうくふく
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そ う ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こ く ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになった
ままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} エレミヤ書 29章 7節

私が、あなたがたを捕囚^{ほしゅう}として送った町の平安を求め、その町のために主に祈りなさい。その町の平安があってこそ、あなたがたにも平安があるのだから。

聖書 フィリピの信徒への手紙 3章 5-21節

⁵私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派、⁶熱心さの点では教会の迫害者、律法の義に関しては非の打ちどころのない者でした。⁷しかし、私にとって利益であったこれらのことを、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。⁸そればかりか、私の主イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失と見ています。キリストのゆえに私はすべてを失いましたが、それらを今は屑^{くず}と考えています。キリストを得、⁹キリストの内にいる者と認められるためです。私には、律法による自分の義ではなく、^aキリストの真実による義、その^b真実に基づいて神から与えられる義があります。

¹⁰私は、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、¹¹何とかして死者の中からの復活に達したいのです。¹²私は、すでにそれを得たというわけではなく、すでに完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスによって捕らえられているからです。¹³きょうだいたち、私自身はすでに捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、¹⁴キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。¹⁵だから、完全な者は誰でも、このように考えるべきです。しかし、あなたがたが何か別の考え方をしているなら、神はそのことも明らかにしてください。¹⁶いずれにせよ、私たちは到達したところに基づいて進みましょう。

¹⁷きょうだいたち、皆一緒に私に倣^{なら}う者となりなさい。また、あなたがたと同じように、私たちを模範^{もはん}として歩んでいる人々に目を向けなさい。¹⁸何度も言ってきました、今また涙ながらに言いますが、キリストの十字架の敵として歩んでいる者が多いのです。¹⁹彼らの行き着くところは滅びです。彼らは^c腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、地上のことしか考えていません。²⁰しかし、私たちの^d国籍は天にあります。そこから、救い主である主イエス・キリストが来られるのを、私たちは待ち望んでいます。²¹キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、私たちの卑しい^{いや}体を、ご自身の栄光の体と同じ形に変えてくださるのです。

(脚注 a: 別訳「キリストへの信仰」、b: 別訳「信仰」、c: あるいは「下腹部」、d: 直訳「市民権」)

《先週のメッセージより》10月11日神学校日（聖霊降臨節第20主日）礼拝
メッセージ「荒野で神に会いに行こうや」より 岡嶋^{ちひろ}千宙^{むかいじま}伝道師（向島伝道所）

聖書：出エジプト記17章1-7節・マタイによる福音書4章1-2節
400年間にもおよぶ奴隷生活から解放され、エジプトを脱出したイスラエルの民が、荒野をさまよい経験した喉の渇き。強烈な渇きに絶えきれず、民はモーセに不平をぶつけました。「飲み水をくれ！」「わたしたちを殺す気なのか！」「主なる神はわたしたちの間にいるのか！」

日本語では「不平を言う」と訳されている言葉は、ヘブライ語のもとの意味を考えると、「不平を他者にぶつけることによって、その相手と共に、立ち止まり、見返す」という意味合いがあると考えられます。荒野での過酷な環境で、渇きの苦しみを体験した民が、それでもなお、自分たちをエジプトから救い出した神様を信じて進もうともがく姿。神様を信じながら、なお体の弱さを痛感し、自分たちの存在意義を、神の民としてのアイデンティティを問い直すようとしています。

全く同じとは言えないまでも、今を生きるわたしたちも、人生に降りかかる苦難を前にして渇きを覚えます。新型コロナウイルス感染拡大により、世界中に多くの重篤者・死者が出ている現代。貧富の差が拡大し、今日を生きることすらままならない人たちが多くいる世界。自国優先主義のもとで他者を愛するのではなく、競い争うことで自己利益を確保することが当然とされる世の中。信仰という標識を掲げながら他者の痛みを無視してまでも不明瞭で不条理な一致を迫る宗教界。社会の、政治の、宗教の、信仰の危機といえる今、この時。わたしたちも、問いたくなります。

「ここはどこだ？」「わたし（たち）はいったい何者なのだ？」「この場所でわたし（たち）は何をしているのか？」「神を信じるものとして、このままでよいのか？」「このあり方で良いのか？」「この教会の姿でいいのか？」イスラエルの民の、そして、わたしたちの声は、確かに聴かれています。伝道を始めてから死に至るまで、幾度も見知らぬ土地に足を踏み入れ、荒野をさまよい、命の道のりにおいて、渇きを覚え続けられたイエス様。そのイエス様が、わたしたちと同じくこの問いを発し、そして、わたしたちの問いを発する声を聴いてくれています。その問いにどんな答えが与えられるのかが重要なわけではありません。「誰に」向けられるのかが重要なのです。わたしたちは、絶望することはありません。むしろ、堂々とぶつけるのです。神様の言であり、わたしたちの間に、確かに生きてくださっているイエス様に。神様の言であるイエス様が、わたしたちの声を聴き、その声に応じてくれるのですから。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (10月11日)

礼拝出席 大人6名 子ども1名 献金 大人7,000円 子ども100円 感謝
聖書を読む会 出席 6名

◎ 次週 2020年10月25日(日) 降誕前第9主日礼拝

招きの詞 箴言 8章32-33, 35節
聖書 詩編 8章1-10節

メッセージ「人間とは何者なのでしょう」牛田匡牧師

賛美歌 361番(©教団讃美歌委) 425番(©JASRAC) 563番(©JASRAC)

礼拝の中で10月生まれの方(と今年度10月までにお生まれの方)の誕生者祝福式を行います。なお礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝後には、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。



◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・11月14日(土)10時~11時に、今春に新会堂に引っ越してから新型コロナウイルス対策のために延期されていた「献堂礼拝」を行います。久宝まぶねこども園「まぶねっ子クラブ」の子どもたちと一緒に「新園舎お披露目会」を兼ねる形で「献堂礼拝」を行い、その後「スマイルパフォーマーQちゃん」のパフォーマンスをみんなで楽しみます。感染症対策のために外部の方々は招待いたしません。
- ・10月23日~11月23日にかけて関西学院こどもセンターより「子どもの不安とイライラに身近な大人ができること」(講師:佐藤寛氏)というオンライン講座が開催配信されます。受講は無料ですが、11月16日までに申し込む必要があります。対象は保育士や幼稚園教諭、施設職員などの指導者です。
- ・10月24日(土)桃山学院教育大学のキリスト教講演会がオンラインにて無料公開配信されます。テーマは「地域で支える大切な命~いのちの電話から見た現代~」、講演者は高木総平氏(愛媛いのちの電話元理事長、中部学院大学チャプレン)です。13時からウェブサイト上に動画視聴用のURLが公開されます。



◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
10/25		牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
11/1	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	(愛児祝福月間)永眠者記念礼拝 ユークリスト・教会を考える会
11/8		牛田牧師	(愛児祝福月間)(法人・王寺墓前礼拝)
11/15		水谷牧師?	(愛児祝福月間)(服部墓前礼拝)

第3回キリスト教講演会

テーマ: 地域で支える大切な命

~いのちの電話から見た現代~

2020年
10月24日(土)
13時から配信サービス開始

ネット配信: 桃山学院教育大学 ホームページから

特別音楽プログラム 小野谷 昌男 (桃山学院教育大学 教授、テノール歌手)
伴奏: 藤原 ゆかり (専攻女子大学講師)

講演者プロフィール

高木 総平 (元理事長、キリスト教信者)
愛媛県松山市出身。愛媛大学卒業後、中部学院大学に在籍し、愛媛県松山市に在住。愛媛県松山市出身。桃山学院教育大学に在籍中。

主催: キリスト教センター
お問い合わせ先: 桃山学院教育大学
〒590-0114 堺市南区磯部台4-5-1
TEL: 072-2358-0025 (代)
Email: christian@tsandrew-edu.ac.jp

